

003 健康経営 取り組み事例

企業
プロフィール

OMRON オムロンヘルスケア株式会社

業種 16 電気機器

従業員数 国内707名 グループ3,049名 合計3,756名(2023年年度末)

01 目的

世界中に健康を届ける企業として、我々自身が心身ともに健康で元気でいきいきと働くことができる企業であることを目的に「オムロングループ健康宣言」に基づき健康経営の実践に取り組んでいる。また、自らの取り組みを通じて得た知見を活かし、社会全体における健康経営の実践に貢献していくことを目指している。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題

課題 ④ 企業の社会的責任	<p>健康経営で解決したい経営上の課題</p> <p>当社は「Going for ZERO 予防医療で世界を健康に」を長期ビジョンとして掲げ、健康寿命の延伸という社会的課題の解決を目指している。この実現のためにまず従業員自身が健康で過ごせる生活を実践することが「自律的生活習慣改善行動の定着」「健康リスク低下」等に結びつき、さらに伝え広げることが予防医療という健康文化の創造、ひいては社会の健康に繋がると考える。</p>
健康経営の実施により期待する効果	<p>一人ひとりまた、会社全体で健康経営に取り組むプロセスを通じて、従業員の「パフォーマンス」や「エンゲージメント」の向上、「チャレンジ風土の醸成」を期待し、中長期的な視点で進捗を経年で確認する。同時に健康を願う当社製品・サービスを愛用して下さるお客様の気持ちや行動を体感し開発や販売に活かし、長期ビジョン実現を目指していく。</p>

自社従業員（組織）の課題と目標

重点課題1 ⑫生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容	<p>高血圧に起因する脳・心血管疾患(イベント)の発症ゼロを目指す「ゼロイベント」を事業ビジョンに掲げている。家庭での血圧測定を習慣化し、血圧適正化のために、生活習慣の見直しと行動変容を実践することで、全員が血圧の適正化を目指すことにチャレンジしている。また、2020年度以降、コロナ禍により就労環境が一変。在宅勤務導入による通勤頻度の減少や外出控えで運動不足が顕在化した。その一端として運動施策の柱であるウォーキング企画「オムゼロウォーク」企画開催月の平均歩数が下記のとおり下がった。(2019年度7,410歩→2020年度 5,692歩)</p>																
目標	<p>健康プロジェクト従業員参加率(オムロン ゼロイベント チャレンジ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>数値</th> <th>単位</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組前実績値</td> <td>96.4</td> <td>%</td> <td>2021年度</td> </tr> <tr> <td>現在の実績値</td> <td>97.1</td> <td>%</td> <td>2023年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>%</td> <td>2024年度</td> </tr> </tbody> </table>		数値	単位	年度	取組前実績値	96.4	%	2021年度	現在の実績値	97.1	%	2023年度	目標値	—	%	2024年度
	数値	単位	年度														
取組前実績値	96.4	%	2021年度														
現在の実績値	97.1	%	2023年度														
目標値	—	%	2024年度														

重点課題2 ⑯従業員の喫煙率低下

課題内容	<p>当社は脳心血管疾患イベントゼロ、呼吸器疾患増悪ゼロを事業ビジョンに掲げている。それを実現する従業員は自らが健康維持改善に向けて努力している心と姿勢がとても大切であり、会社として各種取組み・支援を行っている。疾病の原因であることが明らかな喫煙については環境整備と共に従業員の主体的な行動変容を促し、段階を経ながら喫煙率ゼロを目指す。</p>																
目標	<p>卒煙チャレンジ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>数値</th> <th>単位</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組前実績値</td> <td>17.9</td> <td>%</td> <td>2017年度</td> </tr> <tr> <td>現在の実績値</td> <td>5.1</td> <td>%</td> <td>2023年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4</td> <td>%</td> <td>2024年度</td> </tr> </tbody> </table>		数値	単位	年度	取組前実績値	17.9	%	2017年度	現在の実績値	5.1	%	2023年度	目標値	4	%	2024年度
	数値	単位	年度														
取組前実績値	17.9	%	2017年度														
現在の実績値	5.1	%	2023年度														
目標値	4	%	2024年度														

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

世界中に健康を届ける企業として、ここで働けば自然とリテラシーと健康習慣が身に付き、我々自身が心身ともに健康で元気でいきいきと働くことができるWell-beingな会社を目指している。また自ら得た知見を活かした健康施策を開発し、共感、実践頂く仲間が増えることで、健康経営の実践を進め、社会的責任を果たすことができると考える。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

歩数、血圧、体重を測定する全員参加型のコーポレイトウエルネスサービス(24年度限り)

具体的な実践内容1

分類	自社サービス
名称	健康経営支援サービス karado! https://www.healthcare.omron.co.jp/sp/karado/
内容	全従業員に血圧計、活動量計配布。アプリでチーム、個人、ポイントで競争するウォーキング企画実施。また希望者に体組成計も貸与、健診前3か月間の減量企画に81名が参加した。
導入時期	17年度～(一時、外販)
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 20年度 血圧測定推進週間における測定実施者率:100% 達成。またその際に152人のかくれ高血圧*リスク者(135/85mmHg以上)を発見。 →https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/health-and-productivity.html ※かくれ高血圧:定期健診では基準値以下だったが、家庭血圧の平均値では基準値を超えた人 社員全員が家庭での血圧測定を習慣化し、自分の血圧レベルを知り、生活習慣の見直しと行動変容をおこなうことで、全員が血圧の適正化を目指すことにチャレンジしている。

具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	特定保健指導支援サービス
内容	特定保健指導(血圧計、歩数計、体重計、専用アプリ、管理画面(ダッシュボード)) https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/news/2019/0408.html
導入時期	～24年度(終了)
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、歩数、体重の日々の測定データをスマホと専用アプリを用いて管理する、測定習慣の定着にフォーカスしたパーソナライズな特定保健指導。積極的支援対象者減少。(18年度10%減) 健診時だけでなく、健康機器からスマホを介し得られる自己申告ではない“測定データ”を元に管理栄養士が指導を行う。鮮度の高い情報により感度の高い指導ができ、「測定習慣」が身につく、カラダの数値が変化したことを実感し行動変容を実践できる。

データ活用事例

事例名	上記活用しているサービス①②に記載済み
内容	同上
利用データ	健康診断、問診、ライフログ(歩数、食事、体重)
利用者(ユースケース類型)	ユースケース1, 2, 3の複合

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	健康施策の取組に必要な個人のデータの統合管理について。会社は、健康情報、就業上の情報、家族情報といった多岐に亘るデータを保有しており、匿名化しても、人物像が浮き出てくる為、プライバシーが担保しにくい。現行以上のデータを組み合わせた分析やサービス開発、データの統合管理は慎重にすすめている。
今後取り組みたい施策の課題	今後、施策への参加の任意性の担保、SNSを介した「レピュテーション・リスク」を想定しておく必要があると考える。

施策内容(重点課題2)

チーム型卒煙チャレンジ、成功時インセンティブを付与する健診データ等を活用した症状ケアアドバイスによる月経随伴症状のサポート

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	卒煙チャレンジ
内容	保健師が喫煙者全員を面談、One to Oneでサポート 敷地内休憩時間含む就業時間内禁煙/禁煙成功時治療費用全額補助 卒煙セミナーの実施、ポスター・メルマガの掲示・配信
導入時期	17年度～
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> 【17年度】17.9% 【18年度】16.3% 【19年度】12.9% 【20年度】10.4% 【21年度】8.9% 【22年度】6.4% 【23年度】5.1% 【24年度】— 卒煙支援としてチーム制卒煙チャレンジの実施(宣言⇒サポート⇒達成時インセンティブ付与)

具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	yulance × cotree
提供元社名	株式会社JMDC
内容	<ul style="list-style-type: none"> 健診データ等を活用したセルフケアアドバイス&カウンセリングサービスによる、月経・PMS症状の改善サポート事業(ICT×人的介入によるプレゼンテーション・QOL改善状況の効果を測定) 月経・PMS症状を抱える女性が、自身の症状やその多寡を客観的なデータにより認知し、自身に合った改善行動をすることに繋げるPHRサービス(yulance) 月経・PMS・更年期の不調に詳しいカウンセラーに相談、症状の認知～ケアまで一気通貫でサポート(cotree)
導入時期	2024年度
選択理由	●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> アプリ、相談サービスだけでなく、男女それぞれが経験するホルモン変動とコミュニケーションのあり方に関するセミナーも実施、男女の健康課題およびメンタルヘルスに関するヘルスリテラシーが向上、職場でのコミュニケーションを中心とした行動変容にも繋がっている状況(アンケート結果) 女性社員全体200名に対して 51名参加、拡大に向けて動画の配信や社員の家族(働く女性)まで対象拡大予定 *経済産業省 フェムテック等サポートサービス実証事業に参画